

令和6年度指定管理業務に関する事業報告書（短期）

施設名 京都市菊浜老人短期入所施設

1 施設の管理運営

- ①開所日 : 24時間 365日
 - ②利用定員 : 40名
 - ③通常の事業の実施地域: 京都市内
 - ④施設の管理運営に関する取組
 - ⑤短期入所生活介護及び介護予防短期入所生活介護
 - ⑥京都市短期入所生活介護緊急利用者援護事業
 - ⑦京都市身元不明高齢者緊急一時保護事業
- 利用者が可能な限りその居宅においてその有する能力に応じ自立した日常生活を営む事ができるよう、入浴・排泄・食事等の介護その他日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより利用者の心身の機能の維持回復を図り、利用者の生活機能の維持又は向上を目指す。

2 事業実施内容

- (1) 指定管理業務（本来業務：老人短期入所施設）
- ① サービスの質の向上
 - ・利用者、利用者家族向けのアンケートを実施した。
 - ・アンケート結果、改善点などを会議にて検討し、内容を公表し配布した。
 - ・サービス事業所へアンケートを実施し、内容を公表配布した。
 - ・自施設マニュアルを改訂し、よりスムーズなサービス提供ができるように努力した。
 - ・利用者の中で希望があれば、個人面談を実施した。
 - ・委員会活動の実施
(リスクマネジメント、感染症、自然災害対策、業務改善、サービス向上、虐待防止検討)を実施した。
 - ・事業所内のマニュアルを定期的に見直し、効果的な物にした。
 - ・職種別の会議、運営会議、法人内会議、法人内ブロック会議を開催し、目標に向け取り組んだ。
 - ② 短期入所介護計画書の充実と個別ニーズの把握
 - ・介護計画書を入所時毎に随時見直しを実施した。
 - ・退所時は必ずカンファレンスを実施し個別ニーズ等の把握、計画に対する評価を実施した
 - ・利用事前の訪問や聞き取りだけでなく、入所時や面会時に本人や介護者や家族からも聞き取りを実施した。
 - ・書式を変更し家族希望も含めより具体的に記入できるようにした。
 - ③ 職員研修
 - ・経験年数や、本人の希望に沿った外部研修、法人内研修に参加した。
 - ・職員会議等を利用し、身体拘束や不適切なケア等の勉強会を実施した。
 - ・全体会議の中で内部研修を毎回実施した。
 - ・感染症予防対策のシュミレーション研修を行った。
 - ④ 地域交流
 - ・地域のイベントや会議に可能な限り積極的に参加した。
 - ⑤ 法人内連携
 - ・同センターとの定例会議において情報交換を行った。

(2) 指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。例：配食サービス）

自主事業の実施状況は、以下の通り。

3 サービス提供状況

- 【職員体制】
- ・管理者 1 名
 - ・相談員 2 名
 - ・介護職員 14 名
 - ・看護職員 4 名
 - ・機能訓練指導員 1 名
 - ・その他職員 3 名
 - ・嘱託医師 1 名

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）

- ・ご利用者の食事提供に関する給食調理業務

4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会経理規程により、契約については一般競争契約と随意契約により行っています。一般競争入札の場合は市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約の場合は市内中小企業に見積り合わせを依頼するようにしています。

5 施設の利用状況(本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など)

(1)稼働率（年間実績値）

①令和6年度実績値	68.1	人
②令和7年度目標値	55	人

(2)年間利用延べ人数（実績値）

①令和6年度実績値	9,833	件
②令和7年度目標値	8,160	件

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人短期入所施設）

介護保険収入	60,361,772
利用料収入	13,703,568
委託料収入	
補助金収入	597,397
寄付金収入	
雑収入	
その他	653,650
収入計	75,316,387

令和6年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	94,400,448
事業費	31,976,856
委託費	
小額修繕費	
その他	40,688,674
支出計	167,065,978

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

・施設利用者アンケートの実施

【方 法】施設の設備や環境、職員の対応等について

【回答率】58.0%（配布62人、回答36人）

(2) 利用者満足度把握の結果

全体としての満足度 満足89%、やや満足8%、わからない3%

ご意見の中に

- ・着替えなど持ち物が要らないので大変助かりました。
- ・お陰様で介護生活から少し離れてゆっくりと自分時間を過ごせて本当に有難いことと思っています。家族内介護が長期となり自分の楽しみの時間を作るのに倍もしんどい思いをしてかえって疲れるだけと思うようになりました。ゆっくり横になりたい、ゆっくり食事をしたい老々介護者です。
- ・サービス終了が残念です。ありがとうございました。

(3) 意見等への主な対応状況

個別の希望、要望は、可能な限り迅速に対応します。

7 その他特記事項

(1)

京都市緊急ショートステイ利用援護事業として虐待や生活困難な状況の方の受け入れ、身元不明者一時保護事業対象者の受け入れを行っています。これら以外にも京都市内最大ベッド数を誇る事業所として「緊急ショートステイ受け入れ加算」の対象となる利用者も多く受け入れ、その責務を果たせるよう努めています。

(2)

8 評価（指定管理者自己評価）

ショートステイの利用者は重度化、多様化しているように思いますが、市民のニーズに応えるため、一般・緊急ショートステイのいずれにおいても可能な限りの受け入れを行いました。高齢者虐待防止に関する研修や事例検討会を行い、理解を深めました。安定的な施設運営に向け、各種経費の見直しも行っています。

「京都市長寿すこやかセンター」と連携、研修や相談事業を実施し、様々なケースに対応できる施設としてその役割の幅を広げていきたいと考えています。当事業所の運営理念にもある「心と心の交流ができる、身近な施設を目指します」を常に意識し、ご利用者・ご家族に必要とされる施設作りを目指し、ボランティアや地域の方々との連携を図り、今まで以上に地域の一員として受け入れられるよう努力し続けます。